

市民と議会



発行 第10号 2018.11.4

小田原市議会を考える市民の会ニュース

発行 小田原市議会を考える市民の会

HPは で して下さい

連絡先 090 - 9249 - 0419 (小泉)

納得のいく議員を選出しませんか



来年の4月に、小田原市議会議員選挙があります。

現在議員に支払われている総額は約2億5千万円です。

【 約817万円（歳費）×28人+78万円（政務活動費）×28人】

選挙1年前には、議会改革推進検討委員会が開かれます。各会派から検討したい議題を出し〈注①〉、会派から選出された議員がそれらについて検討します。結論だけを見ていたのでは、各議員の意向はよくわかりません。そこで私たちはこの委員会を傍聴し、その経過をみなさんに報告したいと思います。

それぞれの議員の考え方がよくわかりますので、ぜひ参考にしてください。

〈注①〉誠風から出された提案は、すでに存在するものだったので、議題とはなりません。

議員定数

現在小田原市は28人ですが、事務局から類似都市との比較（人口・面積）の資料が出されました。また、公明党の議員から関西学院林教授の議員定数の計算式での資料要求がありました。（6/29）〈注②〉

7/18

公明党	現状維持	理由	人口や面積などの要素を踏まえた住民代表機能の維持の観点から林教授の計算式で言うと小田原市は、30名というのが基本的な考え方となる。また、執行部に対する監視機能・政策提言機能の強化の観点からも林教授のお話の中で安易に減らすべきではないとのこと。
新生クラブ	検討中	理由	住民代表機能の維持について再度詰めたいので。また、以前36名いたときもあり、削減実績をもう少し調査研究したい。他市との比較をもとに再度検討したい。
志民の会	1名減	理由	南足柄市との合併の協議において両市合わせて28名とのことでした。それゆえ定数は少なからず削減すべきと考えました。また、類似他市との比較においても減らすのが妥当と考えます。
共産党	増やす	理由	地域における少数意見を排除することになるのはよくないので。また、人口や面積のこともよく考えなければいけない。
誠風	現状維持	理由	住民代表機能の維持のためには28名必要。また、定数削減というのが市民の議会に対する不信感の払しょく的手段であってはならないと考えます。議員定数の公式にのっとりた場合、小田原市の形や面積のことも含まれているので現状の方が妥当だと考えます。

政和	1名減	理由	住民代表機能の維持はできると判断します。また、林教授のデータと比較してほとんどの市はマイナスになっています。また、3つの常任委員会も27名なら十分成り立ちます。
創政会	検討中	理由	人口減少と定数というものをしっかり議論したい。また、事務局内に政策担当者の配置を考えてもよいのではないか。それと監視機能というのが定数減でも十分成り立つのか。市民アンケートも必要。

〈注②〉林教授の計算式では、小田原市の議員定数は、29.3人となる。現在の定数は28人なので差は-1.3人となる。神奈川県内の他市と比べると+になっているのは横須賀市のみ。他の市はすべて-1.6~-5.5。つまり他市は小田原市よりもっと多く減らしていることがわかる。

この日は会派に持ち帰り、再度検討することになった。

8/10

公明党	現状維持	理由	小田原市は他市に比べて面積が広い。林教授の公式による数でよい。
新生クラブ	検討中	理由	林教授の資料からも削減もやむなしかとも思うが、まだ検討中。
志民の会	1名減		
共産党	増やす	理由	法定定数や林教授の計算式から考えて。
誠風	検討中	理由	法定定数からいうと現状維持。他市との比較からいうと1名減もあり。
政和	1名減		
創政会	検討中	理由	人口減少と定数に関してもう少し議論すべき。1名減もある面では考えなければいけない。

この日も会派に持ち帰り、再度検討することになった。

8/29

公明党	現状維持	理由	他市との面積が違う。小田原市約113km ² 、平塚市約67km ² 等。
新生クラブ	削減もやむなし	理由	類似の他市との比較から。
志民の会	減らす	理由	合併時の定数28人を考えると減らすべき。また、林教授の計算式から言っても、他市と比較して減らすべき。
共産党	増やす	理由	2040年の小田原市の人口は約16万人弱。今ここで減らすのは早計。また、現在の議員報酬を各自2~3万円減らしてその分で一人分の定数確保ができる。そのようなことも考えてはどうかと思う。
誠風	減らす	理由	合併時の定数が28人だったことを考えると将来的には減らす方向。
政和	減らす	理由	平塚市は28人等、類似他市と比較しても減らす方向でいくべき。
創政会	削減もやむなし	理由	毎年約1000人の人口減少。定数削減の方向でいくべき。

この日も会派に持ち帰り、再度検討することになった。

9/13

公明党	1減やむなし	理由	常任委員会の人数が同数になる。〈現在3つの常任委員会の人数は10人・9人・9人なので、それが9人ずつになる。〉
新生クラブ	定数減	理由	議長の裁決権〈注③〉に関係する1人~2人については協議中
志民の会	1減		
共産党	1~2名増やす	理由	人口・面積・林教授の計算式から。
誠風	2名減	理由	議長裁決はできるだけ避けたい。
政和	1減	2減の意見が多ければ考慮する。	
創政会	1減		

第1次答申は、定数減が6会派・定数増が1会派という意見を併記して議長に出された。(10/5)

〈注③〉議長は議員として議決に加わる権利は持っていない。しかし可否同数の場合、自身の意思表示をするのではなく総合的に判断しなければならないとされている。27名だと議長裁決の可能性あり。

政務活動費

お給料以外に政治活動等に使えるお金として（税金は取られない）支給されている。
小田原市の場合は年間78万円。

昨年市民の署名約 3000 名を添えて小田原市議会に、「市議会のホームページに政務活動費の出納簿と領収書を公開してほしい」と陳情を出しました。署名にご協力いただいた方々、ありがとうございました！しかし、残念ながら否決されてしまいました。現在は収支報告書〈注①〉のみ議会のホームページで公開されています。今回の議会改革推進委員会では市民の関心が高いという理由で、政務活動費について話し合われることになりました。ぜひその経過をお読みください。

* 〈 〉の中は私たちが加えたものです。



7/18

志民の会 公開に賛成 個人情報伏せる

公明党 現状維持 理由 事務局の事務量が増える。見たい人には見ることができるようになっている。〈注②〉また、議員には選挙というものがあり、〈領収書まで公開となると〉「何だよ。俺の店を使わないでなんでここの店を使っているんだ。」みたいな話になるのでよろしくない。

共産党 公開に賛成 個人情報載せない 理由 何にどう使われたかは、市民に見えにくい。

政和 現状維持 理由 かなり作業量が増える。〈注③〉どういうものに使われたか端的に見えるような今の形〈収支報告書〉がベスト。事務的にそれほどかからないということであれば、個人情報の部分を消して公開するというのもありかなと思う。また、民間のホームページに掲載されているようなのでそれにお任せして〈注④〉議会の方はシンプルでいくのがよろしいかと考えております。

創政会 収支報告書のみ公開 〈収支報告書はすでに公開していることを創政会の方は知りませんでした。〉

誠風 現状維持

新生クラブ 現状維持

この日は会派に持ち帰りとなり、再度検討することになりました。

8/10

創誠会 現状維持

政和 現状維持

公明党 現状維持

新生クラブ 現状維持

共産党 公開する

志民の会 公開する



午後1時43分に休憩 この間に共産党・志民の会の説得が行われた。

今後に向かってホームページでの公開も念頭に置いて調査研究するという意見を付してとのことで。

現状維持（ホームページでの公開は収支報告書のみ）ということになりました…。

8/29

ガソリン代・携帯電話代は上限を1万円（50%の計上…使ったものの半分を政務活動費として請求してよいということ）とすることになった。

〈注①〉 現在公開されている収支報告書とは下記のようなものです。

平成 29 年度政務活動費支出一覧表(収支報告書)

(小田原市議会ホームページより)

H.30.8.16

	780,000	780,000	780,000
収入	780,000	780,000	780,000
支出	761,379	689,682	866,392
調査研究費	22,380	189,250	0
研修費	0	11,000	12,296
広報費	0	162,000	648,101
広聴費	0	0	0
資料作成費	6,761	0	0
資料購入費	267,615	53,564	84,079
人件費	0	0	0
事務所費	443,333	164,725	13,824
事務費	21,290	109,143	108,092
残額	18,621	90,318	0

これでは具体的に何に使われたのかわかりません。出納簿や領収書を見て初めて何に使われたのかわかります。現在、ガソリン代や携帯電話代を計上している人が多くいます。両方とも計上していない人は、3人だけです。

政務活動費は税金から出されていて歳費(給料)と違い税金も引かれません。

何に使われたかわかる出納簿とその裏付けとなる領収書を

ネットで公開し、誰でもいつでも見ることができるように！

〈注②〉 平日の8時30分～17時までに議会事務局に見に行かなければなりません。これで誰でも見ることのできる状態になっていると言えるでしょうか。

働いている人は見ることができません！

〈注③〉 議会の方で公開しないということになりましたので、残念ながら当会で公開することにしました。それに要した時間は約9時間です。データを持っている専門家の事務局の方達が作業して下さるならば、もっと早くできるでしょう。事務局の作業量が増えるということを理由に公開を拒むという姿勢は、小田原市議会の「開かれた議会を目指す」という方針に沿ったものと言えるでしょうか。

〈注④〉 民間のホームページに任す！？ とんでもない！！

政務活動費は税金から出ています。(議員の調査研究その他の活動に資するために交付されている)

公開するのは議員としての義務ではないでしょうか。

民間団体に公開されるなんて恥ずかしいことだという議員としての矜持はないのでしょうか。

会派名簿

会派名	代表者	氏名		
公明党	小松久信	今村洋一	奥山孝二郎	楊隆子
新生クラブ	井原義雄	鈴木美伸	俵鋼太郎	佐々木ナオミ
		安藤孝雄	井上昌彦	
志民の会	細田常夫	安野裕子	鈴木敦子	
日本共産党	田中利恵子	関野隆司	吉田福治	
誠風	大川裕	加藤仁司	篠原弘	鈴木和弘
		神戸秀典	浅野彰太	
政和	武松忠	大村学	川崎雅一	
創政会	神永四郎	木村正彦	鈴木紀雄	